

ヤマコン

佐藤隆彦社長にきく



「貴社の概況をお聞きする。まずは業績から。」

「17年度の売上高は45億円で、そのうち庄送事業が35億円を占めた。今年度は同程度の売上を予定しつつも多少の伸びを期待している。生コン出荷を前提にすると東北地方は復興需要が終盤を迎えてピークアウトしつつあるが、手持ちの工事量があるので売上はそれほど落ち込んではいない。関東ではオリンピック関

連工事で売上が伸びている」

「庄送事業以外では、老朽化した給水管の更生事業を行う設備事業は昨年度の上

7億円から今年度は少し落ち込む見通し。新たに始めた排水管の入

替工事の売上が増えており、今後に期待している。太陽光発電事業は17年7月に「はちのへアプロジェクト」を立ち上げ、現在は8箇所に発電設備を稼働させている（発電総量は6・8MW）。その後は風力発電を手がけるために情報収集をした

が、安定した稼働が見込めないため事業化は中断している。不動産事業

は、賃貸マンション4棟と商業店舗（二トリ）を

運営している。庄送事業は生コンの出荷量に左右されるが、太陽光発電や不動産事業は2億円から2億5千万円程度と売上

規模は小さいものの安定した収入で業績を支えてくれている」

る。

「外国人実習生の受入は20年前に着手し経験と実績がある。そうした実績が評価され今年3月に国土交通省からホアン・ジン・ホアンさんが『優秀外国人建設就労者表彰』を受賞した。以来、

「今年度は経済産業省が推進する『健康経営優良法人認定制度』の優良

グループのオペレータの免許を取得することも可能となるので、これまでよりワンランク上の外国人の技能実習生の活用に取り組んでいく方針だ」

「今年度は経済産業省が推進する『健康経営優良法人認定制度』の優良

新聞やテレビなどでも当社の技能実習制度が取り上げられるようになった。昨年11月から施行された新たな外国人技能実習制度では、優良監理者としてフォロワーする仕組みを設けることで、認定を受けることで、若い人材を確保する際のPR材料になると考え

なく山形県内では10社に満たない状況だ。健康管

理を個人にのみ任せることはできないと判断して昨年からはインフルエンザ予防接種の費用を会社が負担するなど会社全体で従業員の健康管理に取り組んでいる」

「これを受けて今年夏にフランディング推進委員会を設置、格好良

さ」とは何かを議論しながら広告やホームページ、ユニホームなどで新3Kを伝える方法を検討してきた。その第一弾として（NEO）と（KK

）を組み合わせたロゴを決定、対外的な発信を開始した」

「これを受けて今年夏にフランディング推進委員会を設置、格好良さ」とは何かを議論しながら広告やホームページ、ユニホームなどで新3Kを伝える方法を検討してきた。その第一弾として（NEO）と（KK）を組み合わせたロゴを決定、対外的な発信を開始した」

「きたないではなく男らしさ、危険には知識や技術力で対応、きつさにはチーム力が必要」と発想を転換して「新たな3Kとして『結構』『かなり』『恰好いい』」を提案してもらった。このアイディアをプレゼンテーションした岸さんは最終審査に残った5点の中から克蘭プリを受賞した」

「きたないではなく男らしさ、危険には知識や技術力で対応、きつさにはチーム力が必要」と発想を転換して「新たな3Kとして『結構』『かなり』『恰好いい』」を提案してもらった。このアイディアをプレゼンテーションした岸さんは最終審査に残った5点の中から克蘭プリを受賞した」

新3Kを対外発信

「結構、かなり、恰好いい」

「これを受けて今年夏にフランディング推進委員会を設置、格好良さ」とは何かを議論しながら広告やホームページ、ユニホームなどで新3Kを伝える方法を検討してきた。その第一弾として（NEO）と（KK）を組み合わせたロゴを決定、対外的な発信を開始した」